摂南大学
副専攻課程

GUIDE BOOK 2023

ソーシャル・イノベーション副専攻課程
グローバル・シチズンシップ副専攻課程

ソーシャル・イノベーション副専攻課程

1 副専攻課程設置の趣旨

摂南大学（本学）は、「文」と「理」をもつ幅広い総合大学です。その利点を生かした教育、研究、産官学・地域連携等を通して、探究心ある自律した人材の育成により、地球規模の問題・課題の解決に挑戦します。そのために、「地域で学んだ知を世界に展開する」「世界で学んだ知を地域に還元する」ことができる人材の育成を目指しています。

そのためには、みなさんが自分中心の生活の場から地域や海外へと視野を広げ、社会における課題を見つけ、自ら解決する能力を身につけることが大切です。また、その過程において、様々な学びを体験し、受け身の学習者ではなく、主体的に自ら課題に取り組み、解決できる能力と自信を身につける学修者となることを目指し、副専攻課程を設置しました。

この副専攻では、主専攻での学び（各学部・学科での学修）に加えて、「現代社会に強く求められる人材」となるための学修を主体的に進めたい意欲的な学生の履修を期待します。

2「ソーシャル・イノベーション副専攻課程」の概略

①「ソーシャル・イノベーション副専攻課程」とは？

自分が所属する学部・学科において、学位を修めるために履修していくカリキュラム（主専攻）とは別に、学部・学科の垣根を越えて、総合大学ならではの幅広い知識・技能・態度を学修できるカリキュラムです。本副専攻課程を修了するために修得した単位は、所属する学部･学科の進級･卒業に必要な単位数に算入されます。

② どのような能力を身につけることができる？

３つの力と８つの Can

本副専攻課程では、社会で求められる能力（８つの Can）が修得できます。この８つの Can を生かしながら、「異世代・異文化（多様性）を主体的に理解する力」、「地域社会の課題を主体的に発見する力」、「主体的に課題を解決し、新しい価値を生み出す力」（３つの力）を育み、持続可能な社会に参加する人間となることを目指します。

ソーシャル･イノベーション副専攻課程が目指す姿

多角的な視点で地域の状況を分析した上で課題を発見し、
持続可能なまちづくりに貢献できる知的専門職業人

3つの力

1. 異世代･異文化（多様性）を主体的に理解する力
2. 地域社会の課題を主体的に発見する力
3. 主体的に課題を解決し、新しい価値を生み出す力

社会で求められる能力（8つのCan）

- ❶ 前向きで主体的な行動
- ❷ リーダーシップ
- ❸ 質の高いコミュニケーション
- ❹ 質の高いプレゼンテーション
- ❺ チームでの協働
- ❻ 自分の強み（長所）の発見・展開
- ❼ 意見や立場の違いの理解
- ❽ 新しいアイデアの創出

③ 科目区分について

本副専攻課程は、「共通科目」、「理論科目」、「実習科目」の３つの科目区分から構成され、それぞれにアクティブ・ラーニング（※）を導入しています。

科目区分	詳細	ねらい
共通科目	**■ 大学教養入門** 教養の入門書を用いて ABD（アクティブ・ブック・ダイアログ）読書法や協働学習の習慣を身につけるとともに、チームワーク能力、コミュニケーション能力等を身につけることを目指します。 **■ 大学教養実践** 大学生に必要な教養として、文学、社会学や経済学の入門的知識を身につけ、その知識をもとに協働学習により社会課題の解決を体験します。そして、知識としての教養を実社会での実践に結びつけることを目指します。 **■ SDGs に学ぶ世界の課題** SDGs（2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標）に関する理解を高め、国際的な視野で活躍できる基礎をつくります。	共通科目を通じて、自らが主体的に知識を獲得し、対話を通して理解を深め、表現するための技術等を修得します。
理論科目	**■「地域と私」** 地域に関わる様々な視点を学び、それについて他者と対話することを通じて、受講生一人ひとりがこれから地域とどのように向き合い、どのように行動していくかを考えていきます。 **■「北河内を知る」** 本学が立地する大阪府北河内地域で活躍する方々をゲストとして招き、北河内地域への理解を深めます。事前学習やゲスト講演をもとに、各市が抱える課題とその解決策についてグループワークを行い、発表します。 **■「まちづくり入門」** １年次に学んだ「地域と私」「北河内を知る」を踏まえ、「国や自治体、公益性の強い団体のまちづくり」、「民間団体が関わるまちづくり」、「市民が関わるまちづくり」の視点からまちづくりの基礎を学び、大学生がまちづくりで担う役割をグループで討議・発表します。	理論科目を通じて、地域の現状や課題を認識し、主体的に地域に関わることの重要性を学び、自らのキャリア形成に結びつけます。
実習科目	**■ 地域実習** 地域の人々への働きかけや協働を通じて、目標設定から実現までのプロセスを体験します。この授業はフィールドワーク入門として本学が所在する寝屋川市においてまちあるきや社会施設での研修を行います。 **■ 摂南大学 PBL プロジェクトⅠ・Ⅱ** 学外の企業や自治体と協力しながら、地域に存在する課題を発見し、解決策を提案する体験型の授業です。毎年度、複数のテーマで開講しています。 **■ 地域貢献実践演習** この授業は、ソーシャル・イノベーション副専攻課程において最も実践的な科目です。これまで、講義やフィールドワークで見つけた学びを総合的に活かせるよう体系的にまとめ、地域の課題により深く関与し、課題の解決を導くための計画策定から、実施、検証にいたるまでを、学生が主体的に取り組みます。 **■ インターンシップ** 現場の一員として業務を担当することを通じて、「社会人がどのような考え方で働いているのか」を学びます。社会人の様々な考え方に触れるとともに、現場での体験を通じて、学生たちが職業選択を社会人となる最初の重要な一歩と実感し、真剣に取り組めるようになることを目指しています。	地域の人々への働きかけや協働を通じて、課題発見から解決までのプロセスを計画し、主体的に取り組む力を養成します。

※「アクティブ・ラーニング」とは、教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授法・学習法の総称をいいます。

3 ソーシャル・イノベーション副専攻課程の修了要件について

①４年以上（薬学部は６年以上）在学していること
②所属する学部・学科で卒業に必要な単位数を修得していること
③ソーシャル・イノベーション副専攻課程修了に必要な単位数を修得していること

■副専攻課程修了に必要な単位数

科目区分	必要単位数	
共通科目	選択必修	２単位以上
理論科目	必修	６単位
実習科目	必修 選択必修	４単位 ２単位以上
合計	14 単位以上	

【注意】現代社会学部生・農学部生は、履修できません。

4 ソーシャル・イノベーション副専攻課程修了証について

修了要件（上記３）を充足した学生には、卒業時に「ソーシャル・イノベーション副専攻課程修了証」を授与します。主専攻での学びに加えて、主体的な学びを進めてきた証になります。

副専攻課程での経験や学びは、在学中だけでなく、社会に出てからも様々な場面で活かすことができるものです。就職活動等で大学生活における取り組みを自己 PR する際にも、大いに役立つものとなるでしょう。

5 ソーシャル・イノベーション副専攻課程の履修申請について

① 履修申請スケジュールについて（2023 年度）

行事および内容等	日程等
履修ガイダンス	新入生：４月４日（火）、４月５日（水） 在学生：全学教育機構（３号館１階）に相談してください。
特別履修申請期間	４月３日（月）～４月５日（水）
履修許可者発表	４月７日（金）以降
「地域と私」初回授業	４月８日（土）
「地域実習」初回授業	４月 11 日（火）

※初回授業日が変更となる場合は、ポータルサイトでお知らせします。

②「地域と私」の履修申請（特別履修申請）について

「理論科目」の必修科目として配当されている「地域と私」については、履修者数を100名程度とし、履修希望者が多数の場合は抽選により履修許可者を決定することがあります。

履修を希望する学生は、ガイダンスに出席してください。

③「地域と私」「北河内を知る」の開講曜日について

1年次配当理論科目「地域と私」「北河内を知る」については、原則土曜日に開講します。各月の補講日のほか、学内外で実施される各種行事と授業が重複することがありますので、履修申請の前に開講日を確認してください。

④「地域貢献実践演習」「摂南大学 PBL プロジェクトⅠ・Ⅱ」「インターンシップ」の履修申請について

実習科目「地域貢献実践演習」「摂南大学 PBL プロジェクトⅠ・Ⅱ」「インターンシップ」については、下表のとおり履修条件・方法があります。

科目	配当年次	履修条件・方法
地域貢献実践演習	3年次	最も実践的な科目として位置づけていることから、2年次までに配当している必修科目の単位を修得していることが望ましい科目となります。
摂南大学 PBL プロジェクトⅠ・Ⅱ	Ⅰ：2年次（必修） Ⅱ：3年次（選択必修）	事前に実施するガイダンスに出席後、履修を希望するプロジェクトの担当教員と面談し、プロジェクトの内容や目標について説明を受けてください。その後、指示された申請方法に従い、手続きを行ってください。 ※ Web 履修申請ではありません。
インターンシップ	3年次	事前に実施するガイダンスに出席後、「履修申請事前許可エントリーシート」（指定様式）を提出し、履修申請許可者のみ申請が可能な科目です。 （履修申請許可者は、前期履修申請期間中にポータルサイトから履修申請を行ってください。）

⑤ 卒業単位の算入について

「ソーシャル・イノベーション副専攻課程」の配当科目は、11・12 ページに記載のとおりです。これらの科目は卒業要件に算入されます。

グローバル・シチズンシップ副専攻課程

1 副専攻課程設置の趣旨

摂南大学（本学）は、「文」と「理」をもつ幅広い総合大学です。その利点を生かした教育、研究、産官学・地域連携等を通して、探究心ある自律した人材の育成により、地球規模の問題・課題の解決に挑戦します。そのために、「地域で学んだ知を世界に展開する」「世界で学んだ知を地域に還元する」ことができる人材の育成を目指しています。

みなさんがそうした人材になるためには、これまで通りの自分を変えずにいられる心地よい空間から一歩外へと踏み出し、地域社会や海外へと視野を広げ、社会における課題を見つけ、課題解決に向けて思考し、行動することが必要です。みなさんがそのような学びを体験し、受け身ではなく主体的に課題に取り組み、解決に貢献する能力と自信を身につけられるよう、この副専攻課程を設置しました。

この副専攻では、主専攻での学び（各学部・学科での学修）に加えて、「現代社会に強く求められる人材」となるための学修を主体的に進めたい意欲的な学生の履修を期待します。

2「グローバル・シチズンシップ副専攻課程」の概略

①「グローバル・シチズンシップ副専攻課程」とは？

世界のグローバル化が進む一方で、私たち人類は貧困、気候変動、格差、環境、紛争など様々な地球規模の課題に直面しています。より良い未来を創造するために、2015 年 9 月、国連において「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択され、「誰一人取り残さない」を基本理念とした 17 の「持続可能な開発目標（SDGs）」が掲げられました。現在、世界中で様々な取り組みが実践されています。

SDGs の基本理念「誰一人取り残さない」を達成するには、国内外の様々な社会課題を「自分事」としてとらえ、解決に向けた行動につなげていく態度、意欲、価値観が必要です。そのような資質を持つ人を「グローバル・シチズン（地球市民）」と呼びます。これが、グローバル・シチズンシップ副専攻課程が育成を目指す人物像です。

より良い未来のために、私たちには何ができるのか、どう行動すべきなのか、一緒に考え、学び、行動していきましょう。

摂南大学が定義するグローバル･シチズン（地球市民）

国内外の多様な社会と人々に敬意と思いやりをもち、
地域の課題と地球規模の課題に等しく当事者として向き合い、
課題解決に向けて積極的に行動できるグローバル・シチズン（地球市民）

グローバル・シチズンになるための３つのマインド

グローバル・シチズンになるための３つのマインド（心構え）です。
この３つのマインドをもって、国内外の社会課題に真摯に向き合い、取り組むことが大切です。

1. 課題を自分事としてとらえる態度
2. 課題解決に向けて積極的に取り組む意欲
3. 多様な人々と対話・協働する姿勢

グローバル・シチズンが大切にする６つの価値観

グローバル・シチズンが大切にする６つの価値観です。
これらは、国内外の多様な社会と人々に敬意と思いやりをもち、
そして、共存・協働するために、必要となる価値観です。
様々なスキルの習得も大切ですが、それらを支える「価値観」を身につけましょう。

- ❶ 多元的なアイデンティティ
- ❷ 多様性の尊重
- ❸ 平和、安全、非暴力
- ❹ 貧困、不平等、不公正の是正
- ❺ 環境の保全
- ❻ 多様なパートナーシップ

② 科目区分について

本副専攻課程は、「共通科目」「理論科目」「実習科目」の３つの科目区分から構成され、それぞれにアクティブ・ラーニング（※）を導入しています。

科目区分	詳細	ねらい
共通科目	**■ 大学教養入門** 教養の入門書を用いて ABD（アクティブ・ブック・ダイアログ）読書法や協働学習の習慣を身に付けるとともに、チームワーク能力、コミュニケーション能力等を身に付けることを目指します。 **■ 大学教養実践** 大学生に必要な教養として、文学、社会学や経済学の入門的知識を身につけ、その知識をもとに協働学習により社会課題の解決を体験します。そして、知識としての教養を実社会での実践に結びつけることを目指します。 **■ SDGs に学ぶ世界の課題** SDGs（2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標）に関する理解を高め、国際的な視野で活躍できる基礎をつくります。	共通科目を通じて、自らが主体的に知識を獲得し、対話を通して理解を深め、表現するための技術等を修得します。
理論科目	**■ グローバル・シチズンシップ論（入門）** グローバル・シチズンシップの定義やグローバル・イシュー（地球規模課題）としてSDGs、人権、宗教、貧困、環境、教育などのトピックについて学び、議論を行います。 **■ グローバル・シチズンシップ論（応用）** 国内外で活躍する社会起業家等をゲストとして招き、入門で学んだグローバル・イシューを身近な課題としてとらえ、自身に何ができるかを考えます。そして、学生主体で課題解決に向けたスモールアクションを実践します。 **■ Topics in Global Citizenship（EMI）** 国内外の社会課題に関するトピックを英語で学び、グローバルな現場において通用するコミュニケーション形成スキルを身に付けます。	グローバル・シチズンシップとは何か、国内外の社会課題を自分事として認識し、グローバル・シチズン（地球市民）としての価値観を涵養します。
実習科目	**■ グローバル・シチズンシップ海外実習（入門）・海外語学研修** 座学で学んだ様々なグローバル・イシュー（SDGs、人権、貧困、教育など）を実際に海外で体験しながら学習します。 **■ 摂南大学 PBL プロジェクト I** 現場で地域課題解決のために必要な能力を身につけるとともに、ローカル社会にあるグローバルな課題に触れ、グローバルとローカルのつながりを理解します。 **■ グローバル・シチズンシップ海外実習（応用）** 本副専攻課程の集大成科目です。これまでに培った知識や経験を活かし、学生自らが海外の社会課題解決に貢献することで成長につなげていきます。	これまでに学んだ国内外の社会課題に対する知識・経験を生かし、世界の人々と協働して課題解決に取り組むことを通してグローバル・シチズンとして自身はどのような貢献ができるのかを考えます。

※「アクティブ・ラーニング」とは、教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授法・学習法の総称をいいます。

3 グローバル・シチズンシップ副専攻課程の修了要件について

①４年以上（薬学部は６年以上）在学していること
②所属する学部・学科で卒業に必要な単位数を修得していること
③グローバル・シチズンシップ副専攻課程修了に必要な単位数を修得していること
（必修科目 10 単位、選択必修科目 4 単位以上）

科目区分	必要単位数
共通科目	選択必修　２単位以上
理論科目 実習科目	必修　10 単位 選択必修　２単位以上
合計	14 単位以上

【注意】農学部生は、履修できません。
現代社会学部生は、履修年次２年より履修可能です。

4 グローバル・シチズンシップ副専攻課程修了証について

修了要件（上記 3）を充足した学生には、卒業時に「グローバル・シチズンシップ副専攻課程修了証」を授与します。主専攻での学びに加えて、主体的な学びを進めてきた証になります。

副専攻課程での経験や学びは、在学中だけでなく社会に出てからも様々な場面で活かすことができるものです。就職活動等で大学生活における取り組みを自己 PR する際や地域や海外で自らがプロジェクトを実践する際に大いに役立つものとなるでしょう。

5 グローバル・シチズンシップ副専攻課程の履修申請について

① 履修申請スケジュールについて（2023 年度）

行事および内容等	日程等
履修ガイダンス	新入生：４月４日（火）、４月５日（水） 在学生：全学教育機構（３号館１階）に相談してください。
特別履修申請期間	４月３日（月）～４月５日（水）
履修許可者発表	４月７日（金）以降
「グローバル・シチズンシップ海外実習（入門）」「海外語学研修」募集説明会 ★2024 年春期プログラム募集説明会は 10 月に実施予定。	〈2023 年夏期プログラム〉 2023 年夏期プログラムについては、現地派遣プログラムおよびオンラインプログラムを実施予定です。 詳細は後日、ポータルサイトにて案内予定。

②【注意】参加申し込みにあたって

グローバル・シチズンシップ副専攻課程の定員は 50 名を上限としています。履修希望者が上限を超える場合は抽選により履修許可者を決定します。

なお、グローバル・シチズンシップ副専攻課程では、原則２回の海外プログラムに参加をすることが修了要件です。費用は学生負担になりますので、保護者と事前に相談の上、参加を決定してください。

③ 開講曜日について

理論科目「グローバル・シチズンシップ論（入門）」（前期開講）、「グローバル・シチズンシップ論（応用）」（後期開講）および実習科目「グローバル・シチズンシップ海外実習（入門）・海外語学研修」の事前・事後授業は、原則土曜日に開講します。各月の補講日のほか、学内外で実施される各種行事と授業が重複することがありますので、履修申請の前に必ず開講日を確認してください。

④「摂南大学 PBL プロジェクトⅠ」「グローバル・シチズンシップ海外実習（応用）」の履修申請について

科目	配当年次	履修条件・方法
摂南大学 PBL プロジェクトⅠ	２年次（必修）	事前に実施するガイダンスに出席後、履修を希望するプロジェクトの担当教員と面談し、プロジェクトの内容や目標について説明を受けてください。その後、指示された申請方法に従い、手続きを行ってください。 ※ Web 履修申請ではありません。
グローバル・シチズンシップ海外実習（応用）	３年次（必修）	学びの総括科目として位置付けていることから、履修申請時において「グローバル・シチズンシップ海外実習（入門）」もしくは「海外語学研修」２単位を事前に修得していることが履修申請の条件になります。

⑤ 卒業単位の算入について

「グローバル・シチズンシップ副専攻課程」の配当科目は、11・12 ページに記載のとおりです。これらの科目は一部卒業要件に算入されます。

副専攻課程 配当科目一覧

1年次

課程	区分	前期	夏期休業	後期	総取得単位数
ソーシャル・イノベーション副専攻課程	実習	地域実習（必修・2単位）			2
	理論	地域と私（必修・2単位）		北河内を知る（必修・2単位）	4
	共通	大学教養入門（選択必修・2単位）		大学教養実践（選択必修・2単位）	4
グローバル・シチズンシップ副専攻課程	実習	グローバル・シチズンシップ海外実習（入門）（選択必修・2単位）＊夏期休業期間もしくは春期休業期間 海外語学研修（選択必修・2単位）＊夏期休業期間もしくは春期休業期間			2
	理論	グローバル・シチズンシップ論（入門）（必修・2単位）		グローバル・シチズンシップ論（応用）（必修・2単位）	4

2年次

区分	前期	夏期休業	後期	総取得単位数
実習	摂南大学 PBL プロジェクトⅠ（必修・2単位）			2
理論			まちづくり入門（必修・2単位）	2
共通	SDGs に学ぶ世界の課題（選択必修・2単位）			2
実習	摂南大学 PBL プロジェクトⅠ（必修・2単位）			2
理論			Topics in Global Citizenship (EMI)（必修・2単位）	2

3・4 年次

<table>
<tr><th>区分</th><th colspan="2">前期</th><th>夏期休業</th><th>後期</th><th>総取得
単位数</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="3">実
習</td><td colspan="3">地域貢献実践演習
（選択必修・2 単位）</td><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">＊「地域貢献実践演習」
「インターンシップ」
「摂南大学 PBL プロジェクトⅡ」
から 1 科目</td></tr>
<tr><td colspan="3">インターンシップ
（選択必修・2 単位）</td></tr>
<tr><td colspan="3">摂南大学 PBL プロジェクトⅡ
（選択必修・2 単位）</td></tr>
<tr><td>共
通</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">成果発表会
12 月中
＜予定＞</td><td>—</td><td>＊「大学教養入門」
「大学教養実践」
「SDGs に学ぶ世界の課題」
から 1 科目</td></tr>
<tr><td>実
習</td><td colspan="4">グローバル・シチズンシップ
海外実習（応用）
（必修・2 単位）</td><td>2</td><td>＊「グローバル・シチズンシップ海外実習（入門）」「海外語学研修」から 1 科目

＊「グローバル・シチズンシップ海外実習（応用）」は、事前に承認された活動（例：協定校への長期留学を利用した社会貢献プロジェクト）の成果報告をもって当該科目の単位を認定する場合がある。</td></tr>
</table>

memo

memo

Smart and Human
摂南大学